

＜那珂川に関する説明会・七ツ洞公園に関する講演会の報告について＞

平成 28 年 3 月 6 日(日) 午後 1 : 20 ~

於 : 国田市民センターホール

[1] 那珂川に関する説明会について

常陸河川国道事務所並びに水戸市から、那珂川の洪水時の対応について説明がなされました。昨年の関東・東北豪雨による鬼怒川の氾濫の例のように既設の堤防を越える氾濫が予想されるので、いざという場合の避難を心掛けてほしいとのことです。



・過去何度も要望している無堤区間の築堤について

では、計画している洪水位の高さより高い微高地なので河川計画上堤防の必要のない区間となっていること。

今後 30 年内の河川整備計画で下流域の無堤の箇所を築堤を急いでいる。また、上流域での遊水池の計画が進めば洪水位は下がるので、国田地区の無堤区間を考えるにしても一番最後になるだろう。

・国田地域は、浸水予想図で浸水の恐れがあることになっているため、いざという時には避難に心掛けてほしいこと。

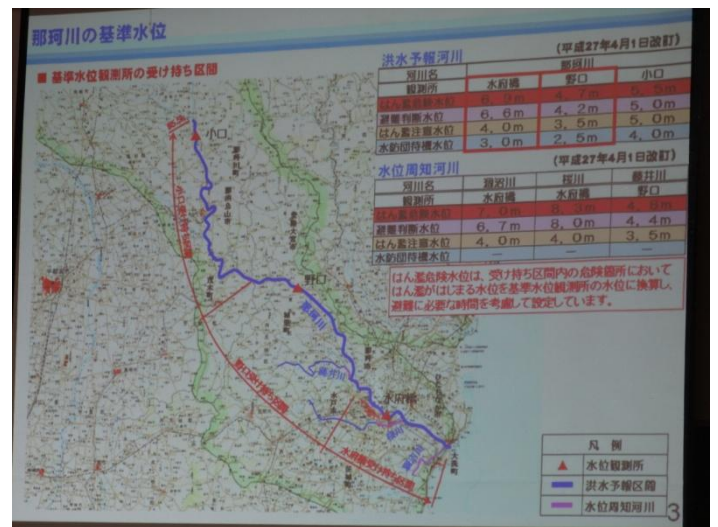
・下国井と上国井境の排水路については、逆流防止のついた排水樋管の工事にとり掛かれるよう準備を進めている。(国交省と水戸市と共同で行う。)

などについて説明がありました。

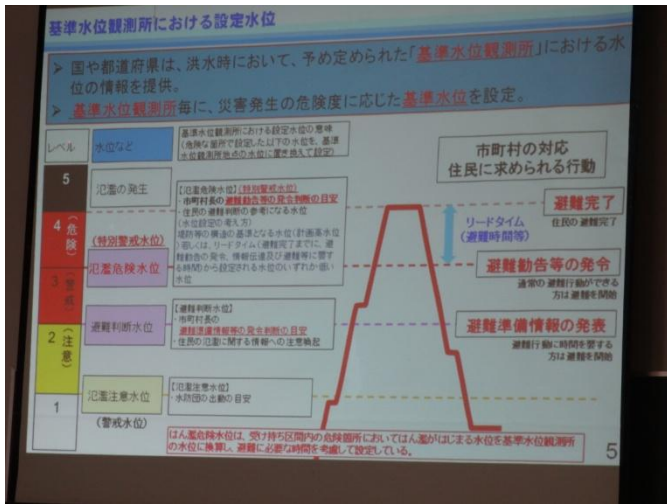
被災した場合に大きな被害が想定される国管理河川において、以下を実施

1. 首長を支援する緊急行動	2. 地域住民を支援する緊急行動
<p>～市町村長が避難の時期・区域を適切に判断するための支援～</p> <p>【できるだけ早期に実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●トップセミナー等の開催 ●水害対応チェックリストの作成、周知 ●洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知 <p>【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●氾濫シミュレーションの公表 ●避難のためのタイムラインの整備 ●洪水予報文、伝達手法の改善 ●市町村へのリアルタイム情報の充実 	<p>～地域住民が自らリスクを察知し主体的に避難するための支援～</p> <p>【できるだけ早期に実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知(再掲) ●ハザードマップポータルサイトの周知と活用促進 <p>【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家屋倒壊危険区域の公表 ●氾濫シミュレーションの公表(再掲) ●地域住民の所在地に応じたリアルタイム情報の充実

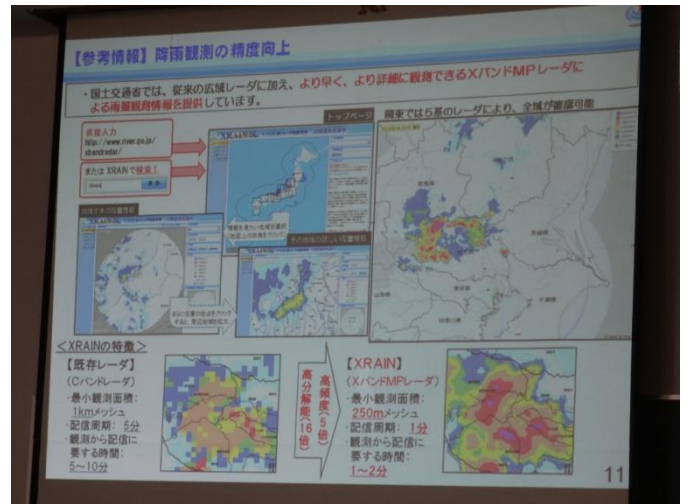
氾濫被害が予想され場合の対応



那珂川の基準水位



基準水位点の設定水位について

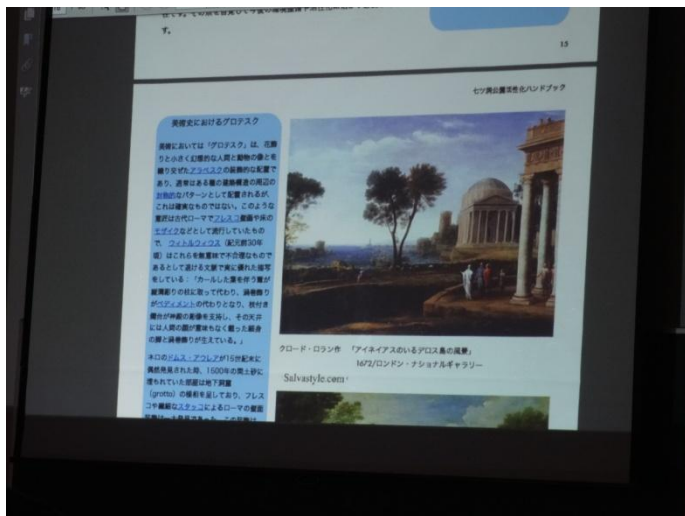


降雨観測の精度向上について

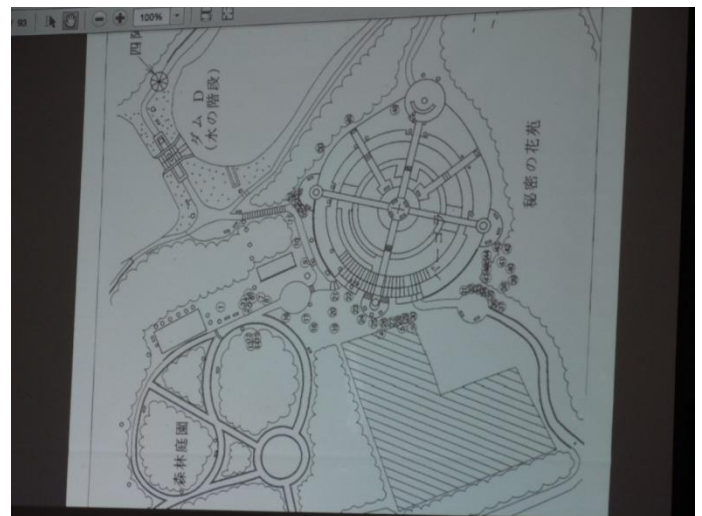
[2]セツ洞公園に関する講演会について

筑波大学芸術学群の鈴木雅和先生からセツ洞に関する講演会として、イギリス風景式庭園の由来、セツ洞公園がイギリス風景式庭園では、全国の3本の指にはいることセツ洞公園の楽しみ方などについてお話がありました。

- ・サーペントインとしての池の配置や秘密の花苑とのコンビネーションと巡り方などについて
- ・新しい駐車場については、セツ洞公園や秘密の花苑への序章と感じられるような単なる平面的な駐車場とならないように配慮すること。



18世紀のイギリス庭園



秘密の花苑